

- 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるためには、地域における介護・医療の関係機関が協働して在宅介護・医療を一体的に提供することが必要
- H25年度から実施してきた訪問看護の推進に加え、R3年度から介護医療連携の推進や看多機の推進を含め、多角的・総合的な取組を実施

施策の方向性

【訪問看護の推進】◇

訪問看護ステーションの安定的な運営のため
看護職の確保・育成・定着の支援策を実施

【介護医療連携の推進】◇

在宅における介護職と医療職の円滑な連携・
協働を推進するための研修等を実施

【看多機の推進】◆

看多機への参入と安定的な運営を促進するため、
研修等を実施

令和4年度の取組（案）

(◇)訪問看護の推進 (◇)介護医療連携の推進 (◆)看多機の推進 【】当初予算（案）/規模

1 訪問看護人材確保育成事業

(1) 地域における教育ステーション事業(◇◇)【47,039千円/13箇所】

育成支援できる訪問看護ステーションを「教育ステーション」として指定し、
地域の訪問看護人材の育成支援や介護医療連携の取組を実施

主な取組内容

- 訪問看護ステーション体験・研修(同行訪問等)
 - 地域の医療機関等での訪問看護師に必要な知識・技術習得のための研修
 - 訪問看護師確保のための取組(就業相談や人材育成の相談等)
 - 訪問看護師の育成・定着や地域連携の強化に関する取組(勉強会等)
 - 地域の訪問介護事業所との間での同行訪問等による研修(介護医療連携研修)※
- (※)都内3か所で実施予定

(2) 管理者・指導者育成事業(◇◆)【9,954千円/345人】

訪問看護ステーションの管理者・指導者向け研修及び看多機管理者・参入
希望者向け研修を実施し、管理者育成と管理者同士のネットワークの構
築を支援

○ 訪問看護ステーション管理者・指導者育成研修

コース	対象	定員
基礎実務コース	新たに管理者・指導者となった方等	83人
経営安定コース	管理者の経験が浅い方等	83人
育成定着推進コース	人材育成等について学びたい管理者・指導者	144人

- 看護小規模多機能型居宅介護実務研修 定員:35人
- [対象]看多機の開設を検討している訪問看護ステーション管理者、看多機管理者等

(3) 訪問看護人材確保事業(◇)【4,138千円/1回】

看護職等に訪問看護の重要性や魅力をPRするための講演会等の実施

(4) 認定訪問看護師資格取得支援事業(◇)【7,988千円】

訪問看護ステーション看護師の認定看護師(訪問看護、皮膚・排泄ケア、認
知症看護、緩和ケア)資格取得に係る経費を補助

(5) 在宅介護・医療 協働推進部会(◇◇◆)【707千円】

東京都在宅療養推進会議の部会として、一体的な在宅療養の推進を検討

2 訪問看護ステーション代替職員(研修及び産休等)確保支援事業(◇) 【19,304千円】

常勤の看護職員が研修受講や産休・育休・介休等を取得する際の代替職員の
確保に要する経費を助成することで、訪問看護師の勤務環境の向上や定着推進
を図る

3 訪問看護ステーション事務職員雇用支援事業(◇)【23,800千円/26事業所】

事務職員未配置の訪問看護ステーションが新たに事務職員を雇用する場合の
経費を助成することで、看護職員が専門業務に注力できる環境の整備を図る

4 新任訪問看護師育成支援事業(◇)【22,345千円/43人】

管理者等が都の定める研修(※)を修了し、訪問看護未経験の看護職の雇用・
育成を行う訪問看護ステーションに対し、育成に要する経費を補助

(※)管理者・指導者育成事業における「育成定着推進コース」